



Y.Hamano

THE TOKYO SHIMBUN HAI

第75回 東京新聞杯 (GIII)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 41,000,000円	16,000,000円	10,000,000円	6,200,000円	4,100,000円
付加賞 560,000円	160,000円	80,000円		

レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 57kg 牝馬2kg減、2024.2.3以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3kg増、牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定G II競走またはG III競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2024.2.2以前のG I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.2.9 東京 晴 良 芝1600m (国際) (特指)

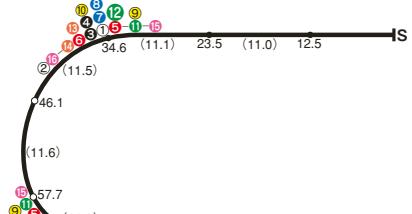
順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位 (600m)	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑫	ウォーターリヒト	牡 4	57	菅原明良	1:32.6	12-12	33.2	468(-2)	7.4(3)	河内 洋(栗東)	112
2	④	ボンドガール	牝 4	55	武 豊	クビ	6-6	33.7	456(+8)	4.4(2)	手塚貴久(美浦)	107
3	②	マイショウウチタン	牡 8	57	吉田 豊	クビ	1-1	35.1	480(-8)	257.0(1)	本田 俊(栗東)	110
4	⑦	ブレイディヴェーブ	牝 5	56	カルメル	クビ	9-8	33.6	482(+14)	2.6(1)	宮田敬介(美浦)	108
5	⑯	マテンロウスカイ	驕 6	59	横山典弘	クビ	3-3	34.4	486(+2)	39.5(10)	松永幹夫(栗東)	
6	⑯	セオ	牡 5	57	横山和生	クビ	2-2	35.0	486(-8)	27.8(8)	上村洋行(栗東)	
7	③	シャンパンカラ	牡 5	59	内田博幸	クビ	6-8	33.9	514(+4)	80.7(1)	田中 刚(美浦)	
8	⑯	オフトレイル	牡 4	58	田辺裕信	クビ	16-16	33.2	456(+2)	30.5(9)	吉村圭司(栗東)	
9	⑥	オールナット	牡 4	57	北村友一	クビ	4-5	34.4	532(+6)	9.2(5)	高野友和(栗東)	
10	⑧	ジョンブロッサム	牡 6	59	戸崎圭太	クビ	9-8	34.2	478(+6)	9.8(6)	友道康夫(栗東)	
11	⑪	ジオグリフ	牡 6	59	横山武史	クビ	14-14	33.7	514(—)	21.9(7)	木村哲也(美浦)	
12	⑤	コラソンビート	牝 4	55	津村明秀	クビ	12-12	34.1	464(—)	102.1(13)	加藤泰三(美浦)	
12	⑯	コートゥファースト	牡 5	57	池添謙一	同着	4-4	34.8	476(-10)	86.6(2)	新谷功一(栗東)	
14	⑩	ゾンニッピ	牡 7	57	浜中 俊	2	6-6	34.8	478(-4)	129.8(13)	池江泰寿(栗東)	
15	①	サクラトゥジユール	驕 8	58	R.キング	クビ	9-8	34.8	516(+4)	9.0(4)	堀 宣行(美浦)	
16	⑯	ラーグルフ	牡 6	57	三浦皇成	5	14-14	35.1	494(-2)	217.6(13)	宗像義忠(美浦)	

単勝⑫740円(3%) 複勝⑫230円(3%) ⑭180円(2%) ⑩3,570円(16%) 枠連⑫-⑯1,260円(5%)

馬連⑫-⑯1,540円(6%) ワイド⑫-⑯620円(6%) ⑫-⑯28,850円(94%) ⑭-⑯19,700円(81%)

馬單⑫-⑯3,540円(15%) 3連複⑫-⑯174,760円(235%) 3連単⑫-⑯2816,870円(1,178%)

5重勝⑫-⑯1,062,130円(567票) 対象競走：京都10R/東京10R/小倉11R/京都11R/東京11R



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
34.6 - 46.1 - 57.7 46.5 - 34.9

アラカルト

- 菅原明騎手はカラテで制した21年に続く東京新聞杯2勝目。JRA重賞は通算12勝目
- 河内洋調教師は東京新聞杯初勝利。JRA重賞はサンライズソアで制した18年平安Sに続く通算7勝目
- ドレフォン産駒はJRA重賞通算5勝目
- 4歳馬の勝利は22年イルーシュパンサーに続く通算41回目
- 非抽選馬 1頭(ロジリオン)

ウォーターリヒト Water Licht

牡 粟毛 2021.3.24生
北海道浦河町 伏木田牧場生産
馬主・山岡正人氏 粟東・河内洋厩舎
馬名意味・冠名+光、明かり(独)

ヴァインゴールドUSA系 F4-1

ドレフォンUSA Drefong 鹿毛 2013	Gio Ponti 鹿毛 2005	Tale of the Cat
		Chipeta Springs
	Elitimaas 鹿毛 2007	Ghostzapper
		Najecam
ウォーターピオニー 鹿毛 2013	ヴィクトワールピサ 黒鹿毛 2007	ネオユニヴァース
		ホワイトウォーターアフェアGB
	マチカネハヤテ 鹿毛 2005	サクラバクシンオー
		ペルセソ

5代までのインブリード: Mr.Prospector S 5×M5×M5

INTERVIEW

伏木田修 代表(伏木田牧場)

豪快な走りに驚きながら見ていました

同日、妹がささらぎ賞に出走したので山岡オーナーは京都競馬場へ、私は東京へ行きました。他馬をぐわーっと飲み込むような豪快な走りを、いつの間にこんなに強くなつたんだと驚きながら見ました。初仔でしたが馬格に恵まれ、当歳馬品評会に出陳したほどですが、芝の重賞を勝つような馬になったことは嬉しい誤算です。次はぜひオーナーと一緒に応援したいですね。



Y.Machida

豪快な走りに驚きながら見ていました
同日、妹がささらぎ賞に出走したので山岡オーナーは京都競馬場へ、私は東京へ行きました。他馬をぐわーっと飲み込むような豪快な走りを、いつの間にこんなに強くなつたんだと驚きながら見ました。初仔でしたが馬格に恵まれ、当歳馬品評会に出陳したほどですが、芝の重賞を勝つような馬になったことは嬉しい誤算です。次はぜひオーナーと一緒に応援したいですね。

内枠から好スタートを決め、先手を
奪つたマイショウウチタンは緩みのない
ラップを刻んでレースを先導。馬群の
隊列が次第に延びていくなが、ボンド
ガールは6番手につけ、ブレイディヴ
エーグは昨年の覇者スクラトウジュー
ルと並んでその背後を進む。ウォータ
ーリヒトの菅原明良騎手はリズム重視
が断然の支持を集め、今年はマイル路
線を歩む4歳馬ボンドガールが対抗候
補と目された。とはいって、その前に立
ちはだかつたのは3番人気の4歳牡馬。
京都金杯の2着馬ウォーターリヒトが
鋭い決め手を冴え渡らせ、定年による
引退が間近に迫つていた河内洋調教師
に惜別の勝利を贈つた。

馬の形で伸びてきたブレイディヴエ
ーとウォーターリヒトが強襲。なかで
も一際、鋭い差し脚を發揮したウォ
ーターリヒトがボンドガールをクビ差に
捉え、豪快な追い込みを決めた。

昨年のシンザン記念は0秒2差の3
着、ささらぎ賞はハナ差の2着と、早
くからタイトルに手が届く下地を示し
てきた本馬は、6ヶ月の休養を挟んで
復帰した昨秋に覚醒。3勝クラス特別、
リステッドのキャピタルSを連勝し、
軌道に乗つた。年明け初戦の京都金杯
は強襲及ばず、サクラトウジユールの
2着に敗れたものの、昨秋、連勝を飾
つた東京のマイル戦で鮮やかに雪辱。
さらなる飛躍を予感させる内容で重賞

父ドレフォンUSA

北米9戦6勝(B.CスプリントG1、キングズビショップSG1、フォアゴーSG1)、
米チャンピオンスプリンター、18年から供用
〔代表産駒〕ジオグリフ(皐月賞G1、札幌2歳SGIII)、アンデスピエント(関東オ
ークスJnII)、ミッキーファイト(レパードSGIII、名古屋大賞典JnIII)、ジャパン
ダートクラシックJnII 2着)、デシエルト(中日新聞杯GIII、若葉S・L)、ウォ
ーターリヒト(本馬)、コンシリエーレ(オアシスS・L、カトレアS 0p、サウジダ
ービー・沙G3 3着)、テオードレフォン(福島民友C・L、エルムSGIII 3着)、
サーマルウインド(信越S・L)、ワーブスピード(メルボルンC・豪G1 2着)、阪
神大賞典GII 2着)、タイセイドレフォン(レパードSGIII 2着)、マスクオールウ
イン(フェアリーSGIII 2着)、ヒストリックノヴァ(エーデルワイス賞JnIII 2着)、
カワキタレブリー(NHKマイルC 3着)

母ウォーターピオニー

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央19戦3勝

〔父〕ウォーターリヒト 本馬(21 牝父ドレフォンUSA)中央13戦4勝(東京新聞杯
GIII、キャピタルS・L、キングカメハメハメモリアル、京都金杯GIII 2着、
ささらぎ賞GIII 2着、シンザン記念GIII 3着)獲得総賞金139,900,000円

〔母〕ウォーターガーベラ(22 牝父レイディオロ)中央6戦1勝(シンザン記念GIII 3着)⑩
(23 不受胎)
(24 牝父レイディオロ)

祖母マチカネハヤテ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央5勝(伏見S、石清水S、中京日経賞、
かささぎ賞)、23年死亡

〔父〕ウォーターピオニー(13 前出)

エイカイマドンナ(15 牝父ハーツクライ)中央2勝

〔母〕レッドアネモス(16 牝父ヴィクトワールピサ)中央4勝(クイーンSGIII、白百
合S・L、サフラン賞)

〔父〕レジェモー(17 牝父オルフェーヴル)中央3勝(新津特別)

〔母〕バンデルオーラ(19 牝父トーセンラー)中央4勝(テレQ杯、小郡特別)⑩

曾祖母ベルセゾン

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央3勝。07年死亡

〔父〕アグネスアーカー(03 牝父アグネスタキオン)中央4勝(早春S、伏見特別、天
皇賞(秋)G1 2着、毎日王冠GII 2着、札幌記念JnII 2着)

〔母〕マチカネハヤテ(05 前出)

〔父〕スウィングベル(07 牝父ゴールドアリュール)中央0勝、地方21勝(珊瑚冠賞)

さらなる飛躍を予感させる重賞初制覇

同じ舞台で争われる春のマイルGI
(ヴィクトリアマイル、安田記念)の行
方を占う意味でも、重要な一戦となる
東京新聞杯で、2番人気を占めたの
は2頭の牝馬。2年前のエリザベス女
王杯の覇者で、行く手にドバイターフ
を見据える5歳馬ブレイディヴィエーブ
が断然の支持を集め、今年はマイル路
線を歩む4歳馬ボンドガールが対抗候
補と目された。とはいって、その前に立

ちはだかつたのは3番人気の4歳牡馬。
京都金杯の2着馬ウォーターリヒトが
鋭い決め手を冴え渡らせ、定年による
引退が間近に迫つていた河内洋調教師
に惜別の勝利を贈つた。

馬の形で伸びてきたブレイディヴィエ
ーとウォーターリヒトが強襲。なかで
も一際、鋭い差し脚を發揮したウォ
ーターリヒトがボンドガールをクビ差に
捉え、豪快な追い込みを決めた。

昨年のシンザン記念は0秒2差の3
着、ささらぎ賞はハナ差の2着と、早
くからタイトルに手が届く下地を示し
てきた本馬は、6ヶ月の休養を挟んで
復帰した昨秋に覚醒。3勝クラス特別、
リステッドのキャピタルSを連勝し、
軌道に乗つた。年明け初戦の京都金杯
は強襲及ばず、サクラトウジユールの
2着に敗れたものの、昨秋、連勝を飾
つた東京のマイル戦で鮮やかに雪辱。
さらなる飛躍を予感させる内容で重賞